

記入例

1-1 補助事業（デジタル化）計画書

事業所名 出雲屋

(申請書に記載した事業所名を記入)

1. 事業計画等

(1) 現在の事業内容（主な「製品・サービス」及び「その販売・営業方法」を記載）

- ・●●や●●を店舗にて販売
- ・上記については、実店舗での販売のみであり、オンライン販売は行っていない。
- ・また、別途▲▲事業も展開しており、▲▲事業については、ウェブショップを開設している。

(2) デジタル化の進捗状況（既に取り組んでいるものを具体的に記載）

- ・キャッシュレス決済（置型QRコードを設置）を導入。（1社のみ対応）
- ・受発注システム
- ・請求書自動作成システム

(3) 補助事業（デジタル化）によって解決したい業務上の課題

- ・現在の方法ではキャッシュレス決済の売上のみしか管理できず、現金売上については別途管理する必要があり時間がかかる。
- ・他のキャッシュレスサービスに対応できないため、お客様にはよっては使えないかたもいる。

(4) 上記課題を解決するために、実施する補助事業(デジタル化)の内容
(具体的に記載)

- ・決済端末（POSレジ）、バーコードリーダーを購入することで、現金売上も含めた売上管理を行う。
- ・また、他のキャッシュレスサービスも併せて導入することで、より幅広い消費者に対応し、売上拡大を図る。

(5) 補助事業実施後、期待できる効果

<期待できる効果>

- ・店舗全体の売上が管理できるようになるため、作業時間の短縮につながる。
- ・在庫管理が自動化されるため、発注業務の短縮につながる。
- ・複数のキャッシュレスサービスにも対応できるため、売上の増加につながる。

<数値目標>

項目	直近の数値	事業実施後に見込まれる数値	備考
売上管理の作業時間	〇〇時間	▲▲時間	
在庫管理の作業時間	〇〇時間	▲▲時間	

(6) 補助事業実施期間

着手日 交付決定後随時

完了予定日 令和 6 年 10 月 10 日

2. 補助事業の予算

(1) 支出の部

964,880 円

経費明細書の税込金額の合計(事業全体の金額)を記載

※詳細は、別紙2「経費明細表」のとおり

(2) 収入の部

(単位：円)

資金調達の方法		金額	備考
①	自己資金	371,880	経費明細書の補助金交付申請額の金額を記載
②	補助金	293,000	出雲市中小企業者等アンタル化・省力化等促進支援事業補助金
③	借入金	300,000	
④	その他 ()		
合計		964,880	支出の部に記載した金額(税込み)と同額